

# 総合学習教育にかかわる現状と課題

部長 佐藤 淳

## 1 総合学習の動向

### 【上越地区】

糸魚川市立田沢小学校では研究主題を「豊かにかかわり自分を見つめよりよく生きる子ども」として実践研究を進めている。地域の「ひと・もの・こと」とのかかわりを重視した単元構成，作文や図を活用した自分見つめの方法に焦点をあて，授業を展開している。（新潟県小学校教育研究会指定1年次）

### 【中越地区】

田上町立田上小学校では，「田上の伝統や文化を自己化する児童の育成」を主題として、音楽科の習得と生活科の学び、総合的な学習の時間の探究を音楽科の活用に繋いでいく実践をしている。（県小学校教育研究会指定研究（H21～23））

### 【下越地区】

新発田市立佐々木小学校は，市の「食とみどりの新発田っ子プラン」のモデル校として食育の指導を総合的な学習の時間を中心にして展開している。また，五泉市立川東小学校では，「マイタウン川東 水の里」をテーマにして，地域に生息する絶滅危惧種である淡水魚イバラトヨミ（俗名トゲソ）の観察学習等を進めている。

### 【新潟市】

新潟市立笹口小学校では，地域のイベント「NIIGATA 光のページェント」に関わる活動を設定している。地域との連携を図った探究的な学習を通して，地域のよさに気付き，地域への愛着を育む総合学習が展開されている。

## 2 総合学習の課題

子どもの実態を十分に踏まえた上で，めざす子どもの姿，育てたい力を明確にし，その目標に向かって，探究的な学習を成立させるための基盤となる体験活動の精選が求められる。また，子どもの活動を的確に把握し，次の活動へと教師が支援し方向付けていくことが大切である。今後，教科・領域との関連を明確にすることや評価の観点や評価規準をどう設定していくか，各学校で検討していく必要がある。